

● 与那原町が「断水しなかった」2つのポイント

ポイント1

町の配水池にたまっていた水の給水調整

県からの給水が止まった後も、町の配水池には一定量の水がりましたが、配水池を通さずに県から直接給水を受けている地域もあったため、早期に断水が発生する恐れがありました。そこで上下水道課では、通常は閉じているエリア間の管のバルブを開けるなどの操作を行い、配水池の水を町全体で分け合う対応を行いました。

ポイント2

町民の皆さまの迅速な節水協力

「17時までに生活用水を確保」「その後は節水を」という町からの呼びかけを受け、多くのご家庭・事業所が、洗車や風呂・洗たくなど水を多く使用する行為を控え、節水にご協力いただきました。その結果、配水池の水量の減少が抑えられ、「断水するかもしれない」という危機を、断水を行うことなく乗り切ることができました。

● 断水の前にできること、断水が決まったらできること

各家庭でできる断水への備え この経験を、「次」に繋げるために

1人1日3リットル×3日分の飲料水

国の推奨する一般的な目安です。なお、飲料水とは別にトイレを流すときなどに使用する生活用水も必要です。お風呂の浴槽に水を溜めておくのも有効な手段です。



与那原町公式LINEの登録

「与那原町公式LINE」へ登録すると災害時の断水情報や給水案内など、大切な防災情報をLINEで受け取ることができます。いざという時のために、ぜひご登録ください！

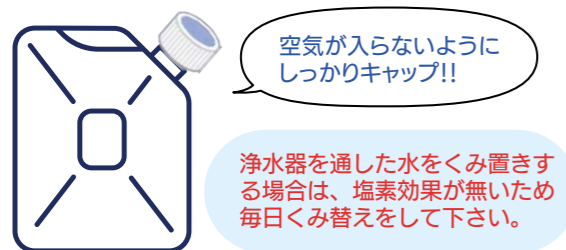
QRコードから LINEの「友達」追加から右のQRコードを読み込んでご登録ください。

ID検索から LINEの「友達」追加から「ID検索」下記IDにてご登録ください
@yonabarutown ※@から入力

町民の皆さまにわかりやすい情報発信を心がけています。

断水が分かったら…水のくみ置き

断水することが分かったら、水道水をくみ置きしましょう！ポリタンクなどの清潔でフタができる容器に空気が入らない様にいっぱいに入れ、直射日光を避けて保管すると3日程度は飲み水として保存できます。



衛生管理品の準備と節水

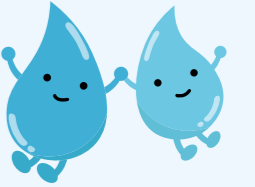
限られた水を有効に使うため、断水時にはウェットティッシュ、アルコール消毒液、ドライシャンプー、からだ拭きシートなどを活用し、水を使わずに清潔を保てるようにします。



節水へのご協力ありがとうございました

～町民の「節水」で守り抜いた与那原の「水」～

沖縄県企業局が管理する導水管の漏水事故に伴い、本町水道におきましては、11月24日から25日にかけて、一時的に断水の恐れが生じました。しかしながら、町民の皆さまの迅速かつ多大な節水へのご協力により、この危機を回避することができました。心より感謝申し上げます。



● 北部の漏水事故が、なぜ断水危機につながったのか

与那原町の水道は、こんな「水の旅」をしています。

北部のダム(福地、新川、安波、普久川、辺野喜ダム)
沖縄県北部の山のダムに雨水がたまり、「大きな水がめ」になります。

導水管(太いパイプ)

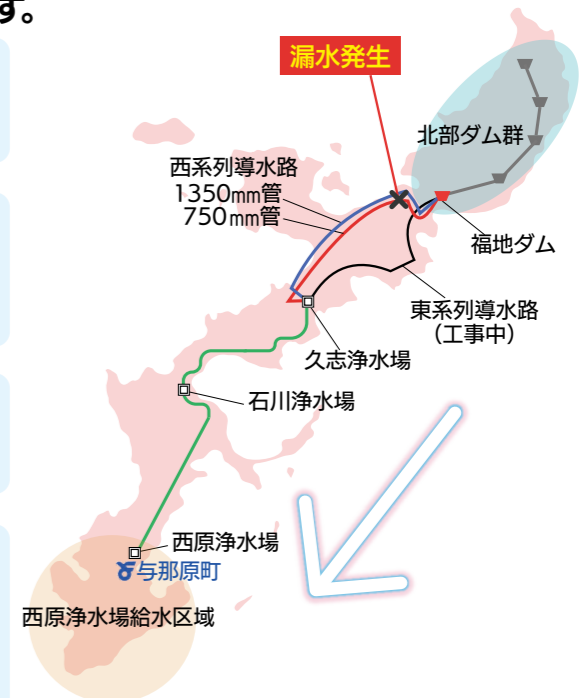
ダムの水を、山を越えて中南部へ運ぶ、とても太いパイプです。大宜味村のあたりを通り、久志浄水場や西原浄水場へつながっています。

西原浄水場

浄水場できれいにされた水はいったん「配水池」にためられ、そこから細い水道管を通して、町内の家や学校、事業所へ届きます。

なぜ断水危機につながったのか

古い導水管が1本壊れたこと、もう1本のルートが工事中で使えなかったことが重なり、さまざまな対応がとられました。西原浄水場の停止を回避することができず、給水地域の一部では断水が発生しました。



与那原町の 水の流れ

